横浜市立白幡小学校　　令和６年１月31日発行

未来へ夢を育む学校

学校だより

（題字　学校長）

２月号　学校長　望月　重晴

「今」を大切に

副校長　小野　雅美

横浜に初雪が降った日、私は娘と映画を観に行きました。主人公の女子高生が戦時中にタイムスリップをしてしまうという内容の映画で、以前に本で読んだことがあったので映画化されるのを楽しみにしていました。「命が一番大切」という事や「善悪の判断は自分でしっかりと考える」など、今では当たり前のように子どもたちに伝えている言葉を口にすることさえできなかった時代に、主人公は驚き苦しみます。そして、自分の命を犠牲にして国を守ろうと決意をした特攻隊員に出会い、物語は続いていきます。以前、家族旅行で鹿児島の知覧特攻平和会館を訪れたことがあります。その時に娘が、特攻隊員の方が書いた手紙や写真を黙ってじっと見ていたことを思い出しました。約８０年前に実際にあった戦争の時代を、今の子どもたちはどのように捉えて、どのように感じているのでしょうか。

今年の元日に起こった能登半島地震では、たくさんの尊い命が奪われ、日本中が悲しみに暮れています。今の私たちは、毎日を「当たり前」に感じてしまうことがとても多いのではないでしょうか。「また明日！」「また、月曜日に！」しかし、この当たり前に感じている明日が、実は本当に素晴らしいことなのだと思います。家族がいて、友達がいて、大切な人がいて、思っていることを伝えることができて、こんな「当たり前」にこそ「幸せ」があるのだと思います。

今年度も残り２か月となりました。６年生は間もなく卒業準備に入ります。白幡小学校の子どもたちが、「また明日！」と言える「今」に感謝をして、毎日を大切に生きようとする子どもに育って欲しいと心から願っています。

◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/　　スマホ等はこちらから→